

平成31年度博士前期課程（外国人留学生選抜）問題 目次

		ページ
	日本語試験	2~4
	専門試験	ページ
文化形態論	哲学哲学史	—
	現代思想文化学	—
	臨床哲学	5
	中国哲学	—
	インド学・仏教学	—
	日本学	6~7
	日本史学	—
	東洋史学	8~9
	西洋史学	10
	考古学	—
	人文地理学	—
文化表現論	日本文学	11~16
	比較文学	17~18
	中国文学	19~20
	英米文学	21~22
	ドイツ文学	—
	フランス文学	—
	国語学	—
	日本語学	23~25
	英語学	26~27
	美学	28
	文芸学	—
	音楽学	29~30
	演劇学	31~32
	日本・東洋美術史	—
	西洋美術史	—

平成三十一（二〇一九）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

日本語試験

【問題用紙は三枚あります。】

（一枚目／三枚中）

次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。答えはすべて解管用紙に書きなさい。なお、この問題用紙は縦書きですが、解答は横書きでかまいません（解管用紙は横書きの仕様になっています）。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

大島尚編（一九八六）『認知科学』新曜社、二頁～五頁末尾まで

(二枚目／三枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

大島尚編（一九八六）『認知科学』新曜社、二頁～五頁末尾まで

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

大島尚編（一九八六）『認知科学』新曜社、二頁～五頁末尾まで

出典：大島尚編（一九八六）『認知科学』新曜社、二頁～五頁末尾まで

注 本文中、ゴシック体で書かれている語は本書においてキーワードとなっている語である。なお、本文中における注（*部分）の内容は省略した。

問 1 傍線部（a）～（e）の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (a) 後世に (b) 享受し (c) 何気なく
(d) 過言ではない (e) 強いて

問 2 空欄 I および II にそれぞれ入る語句の組み合わせとしてもっとも適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- (ア) I しかし II さらに
(イ) I さらに II ただし
(ウ) I ただし II そこで
(エ) I そこで II だから
(オ) I だから II しかし

問 3 認知科学とコンピュータの関係について、本文の内容に即して簡潔に説明しなさい。

問 4 認知科学がどのような科学であるかについて、本文中で述べられていることを簡略にまとめたりして、あなた自身は、この認知科学に興味を持つかどうかを、理由をあげて述べなさい（全体で八〇〇字程度）。なおその際、興味を持つ、持たないのどちらの立場から論じてもかまわない。

平成31（2019）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 臨床哲学専門分野 専門試験

[問題用紙は1枚です。]

※ 解答はすべて日本語で記しなさい。

問題1 ケアについて哲学・倫理学説に関連づけながら述べなさい。

問題2 哲学史上の次の4つの概念のうち、3つを選んで説明しなさい。

- ① 共感
- ② 愛
- ③ 実存
- ④ 価値

問題3 次の英文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Susan Sherwin, *No Longer Patient: Feminist Ethics and Health Care*, Temple University Press, Philadelphia, 1992, 3 ページ 25 行明～4 ページ 5 行目。

平成31（2019）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 日本学専門分野 専門試験

[問題用紙は2枚です。]

(1枚目／2枚中)

[I] 次の項目から、3項目を選んで説明しなさい。

- (1) 冊封使 (2) 亀甲墓 (3) 「土佐源氏」 (4) 『銃後史ノート』
(5) 同潤会 (6) 山片蟠桃 (7) 「三たび平和について」 (8) からゆきさん
(9) 創られた伝統 (The Invention of Tradition) (10) ウーマンリブ

[II] 次の4問のうちの1つを選んで答えなさい。

- (1) 「他者の経験」を表現することについて、具体的な事例を挙げながら論じなさい。
(2) 近世日本の思想史上における論争を一つ取りあげ、その意義について論じなさい。
(3) 「同化」と「異化」という言葉を用いて、アイデンティティについて、具体的な事例を挙げながら論じなさい。
(4) 19世紀後半から1920年代における、日本に関する国際的な人の移動と人種差別との関係について、具体的な事例を挙げながら論じなさい。

(2 枚目 / 2 枚中)

〔Ⅲ〕 次の文章は、Michael S. Molasky, *The American occupation of Japan and Okinawa: literature and memory* (Routledge, 1999) の一節 (7 頁 16 行目～8 頁 7 行目) である。これを読んで、次の問いに答えなさい。

問題文は著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は上記のとおりです。

1. 下線部①について、人びとはなぜ理解できなかったのか、説明しなさい。
2. 下線部②の二つの用語について、本文を踏まえて説明しなさい。
3. 日本以外の国で「1945 年 8 月 15 日」が意味するところについて、具体的な事例を挙げながら論じなさい。

平成31(2019)年度
大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化形態論専攻 東洋史学 専門分野 専門試験

[問題用紙は2枚です。I・II・III・IVについて、それぞれ別の解答用紙を使用してください。]

I 英語問題

次の文章を日本語に訳しなさい。なお、文中の注番号については無視すること。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

【Michael Puett, "Forming Spirits for the Way: The Cosmology of the Xiang'er Commentary to the Laozi," *The Journal of Chinese Religions* 32, 2004, p. 1, ll. 6-19】

注: Xiang'er Commentary: (老子) 想爾註 Great Peace: 太平 Celestial Masters: 天師 (道)

II 論述問題

次の3問より1問を選択し、日本語で答えなさい。

1. アジア史における「法」のもつ意味と機能について、①裁判制度との関連、②西洋法との比較、を念頭に置きながら、特定の事例を挙げて述べなさい。
2. 宗教組織が国家や社会に対して如何なる役割を果たしてきたか、アジアにおける任意の地域を選んで述べなさい。
3. 火薬兵器が戦争や国家・社会や貿易のありかたをどう変えたか、前近代アジアの任意の地域を選んで述べなさい。

Ⅲ 漢文問題

次の漢文は、清代の王鳴盛が著述した『十七史商榷』巻六十四・南史合宋齊梁陳書・「淵明改深明」の全文です。これを読んで、下の問いに答えなさい。

陶潛字淵明，或云字深明，名元亮。①此南史文，乃校書者改，其謬不可勝言。宋書則云，陶潛字淵明，或云淵明字元亮，其上周續之傳，續之入廬山，時劉遺民遁迹廬山，陶淵明亦不應徵命，謂之尋陽三隱。②然則本字淵明，後以字行。故又字元亮，甚顯白。李延壽避諱③改深明，并續之傳，亦改深明，後之校南史者既改為字淵明矣。此下兩句，延壽原本，必是或云深明，字元亮，④乃又妄改如右。展轉惑人，校者之謬至此。

【語註】

周續之（377-423）：字は道祖，南朝宋時期の人物。『宋書』巻93に立伝。

劉遺民（352-410）：もとの名は程之，字は仲思，彭城（現江蘇省銅山県）の人。

顯白：明白であること。

李延壽：唐代の史家，『南史』『北史』を編纂。

- 問1 傍線部①を現代日本語に訳しなさい。
問2 傍線部②を現代日本語に訳しなさい。
問3 傍線部③について、李延壽が深明と改めた理由を答えなさい。
問4 傍線部④について、「妄改」の過程を、本文を踏まえて説明しなさい。

Ⅳ 基礎事項問題

次の(a)～(d)の事項について知るところを、それぞれ2行程度で簡潔に述べなさい。

- (a) ウイグル (Uyghur) (b) シャリーア (Sharia)
(c) 五・四運動 (d) 宋会要輯稿

平成31(2019)年度

大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題

文化形態論専攻 西洋史学 専門分野 専門試験

【問題用紙は2枚です。設問Iと設問II(1)(2)(3)(4)について、解答用紙に問題番号を記して、各設問の指示に従って、日本語もしくは英語で書きなさい。】

設問I 西洋史における近世(the early modern period)について、始まりと終わりの時期を明示して、その時代の特徴について日本語で述べなさい。

設問II 英語文献問題

以下の文章は、Charles Tilly, 'The Rise of the Public Meeting in Great Britain, 1758-1834', *Social Science History* 34:3 (Fall 2010), p. 297(1.5)-p. 298(最後まで)を示している。そこには19世紀にどのようにして、またなぜパブリック・ミーティングがブリテンの政治活動にとって重要になったのか、4つの関連する変化が描かれている。それに関して、次の(1)～(4)の質問に答えなさい。

- (1) 下線部(a)を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部(b)の説明の背景になっているジョン・ブリュアによって提唱されたテーゼを日本語では一般に何と呼んでいるか、答えなさい。
- (3) Why did it become crucial to coordinate political activity among multiple localities and groups? Answer the question in English.
- (4) 下線部(c)を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

平成三十一（二〇一九）年度

大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

文化表現論専攻 日本文学専門分野 専門試験

【問題用紙は6枚です。】（1枚目／6枚中）

□ 次の文章は『十訓抄』の一部である。これを読んで、後の問いに答えなさい。（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

唐の玄宗の帝、年ごろ月を愛する志深くして、①夜々むなしくし給ふことなかりけり。道士、これを感じて、帝に申すやう、「君、月を愛し給ふこと、年久し。月の中を見せ奉らむ」と奏しければ、帝、悦びてしたがひ給ふ。

道士、八月十五夜の月の、子の時ばかり、庭に立ちて、桂の枝を月に向ひて、投げ上げたりければ、銀の階、月の宮につつきけり。この時に、道士さき立ちて、引き奉る。昇ること、いくほどならずして、月のうちに入り給ひぬ。玉の宮殿、玉の楼閣、教知らず。舞台の上に、十二人の妓女舞ふ。おのおの白衣を着たり。②楽の声、舞の姿、のどかにすめば、玉を動かすかんとし、雪を廻らす袖、みな光りかかやけり。

二階の宮殿あり。壹ごとに玉をみがきて、A目もあてられず。玉の簾を上げて、一人のあるじ、これを見る。すべて、ものの音、舞の姿、ところのありさままでも、心も及び給はず。斧の柄も朽ちぬべくおほされけれど、名残惜しながら、③舞だに見はてずして、帰りに給ひにけり。

〔注〕斧の柄も朽ちぬべく 晋の王質が山の中で半日、童子の囲碁を見ていたつもりであつたが、斧の柄は腐り、実際には数百年たつていたという故事。

問一 傍線部①②③を現代語訳しなさい。

問二 傍線部Aはどのような情景について述べているか説明しなさい。

問三 文章全体で、どのような世界または空間が描かれていると考えられるか。前近代の漢字圏で読まれた書物に見られる思潮または主題に即して説明しなさい。

三 次の文章は、シェイクスピア原作「ジュリアス・シーザー」を坪内逍遙が邦訳した『自由太刀餘波鋭鋒（じゆうのたちなごりのきれあち）』（明治十七（一八八四）年）より、「附言」および本文の第二幕第二場冒頭部の引用です。これを読んで、後の問いに答えなさい。（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

附言

原本はもと臺帳の粗なる者に似てたゞ臺辭のみを用ひて綴りなしたる者なれば所謂戯曲にあらざ、この院本とは全く體裁を異にしたる者なるを今此國の人の爲めにむさざと院本體に譯せしかば原本と比べ見ば或は不都合の廉多あるべし見ん人これを諷せよ

全文の意味の通し易きを專要とし淨理にてそめ易き所は之にしたがひ臺辭にして解し易き所と又之に従ふ蓋し原本乃意を失はざらんを力むのみ原來此國の梨園子弟に與へて直ちに之を演戲させんとはあらず具眼の人院本規矩に戻れるを笑ふ勿れ原本の意は成るべく失はざらんを力むるといへども中には彼我思想の異なるまゝにかやうにも譯しかたき條なきにあらず、それらは譯者の意

匠をもてこゝとさらに取捨し又は骨を換へたるもあり、かる類之とに滑稽諧謔の條下に多し原本と比べ見ん人いお乃づから譯者の當惑を察し賜はん

篇中の人名、眞名をもて撰められども只見出しに便ならんを要するのみ、され共所謂湯桶讀なるもあり萬葉訓に似たるもあり幸に答むる勿れ

逍遙遊人 志るす

注 院本……淨瑠璃の詞草全編を刊行したもの。丸本。具眼の人……見識のある人。

三 次の文章は、島木健作の小説『生活の探求』の一部です。大学入学直後に肺炎になってしまった杉野駿介は、退院後、病後の養生のために、田舎の美家に帰ってきています。これを読んで、後の問いに答えなさい。

(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

《出典は『生活の探求』(河出書房、一九三九年十二月)一〇〜一五頁》

杉野の家は、山裾の、部落の他のどの家よりも高いところに位置してゐる。その家の裏手の井戸も、深く掘られて、ほとんど四間に近い。筋のいい水脈に掘りあて、山底の水を集めて、清冽玉の如くであつた。水の味がいいと云つて、養めないものはなかつた。夏には、かなり離れたところからも、ベケツや薬籠などを下げて、飲み水や冷水をもらひに來た。いつとはなしに、誰が名づけたといふこともなく、その井戸は、「玉水の井」と呼ばれ、人々を潤はして來たのであつた。玉水の井が、常にも増して人々に多くの恵みを垂れるのは、丁度今年のやうに雨量の少い時であつた。どこの家の井戸も水が涸れて、底の泥が立つやうな時、玉水の井だけは、依然、清らかな水を豊かに湛へてゐた。飯をしかける時、轡番で風呂を立てるその番が廻つて來た時、近所の人々は、玉水の井の存在の故に助かつた。ところが、その井戸が、ここ三四年來、夏期には、目立つて水の出がわるくなつて來たのだつた。そしてそれも無理がないと云へた。この井戸は今から五十年も昔、駒平の父の代に掘り、その頃少年だつた駒平はその仕事を手傳ひ、それ以後、掘り下げたことがないといふ古さだつたのだから。それだけの年月の間には、水脈にも變化がないとは云へなからう。そしてこのことは駒平を殊のほか悲しませた。この純樸な老人は、今までのやうに多くの人々に奉仕し、彼等を喜ばし得ぬことを悲しんだのである。杉野の爺は、以前は村での有力者で、駒平の父は地方の政治に関係し、村での世話役的な仕事にも熱心だつた。しかし、駒平は父から、その名と井に少なからぬ借財をも受け継いだ。もともと多くはなかつた持地をそのために處分し、分家した兄弟達にも土地を割き、彼自身は普通一般の働く農民として、自立した存在になつて行つたが、父の代の我家を知つてゐる彼は、村のために役立つ自分分を寂しく思ひ、さういふ彼にとつて、玉水の井は實に小さな一つの慰めであつた。降雨の少いことでは國中にも名があり、川らしい川の無いこの地方は、少しの日照りにもすぐ水が涸れる。夏の日、裏の井戸に近所の人々が通つて來るのを見る駒平は樂しげだつた。

「俺らの生きとるうちの仕事の一つに、どうあつてもこの井戸は俺らの手で掘つ返さなや。」

出がわるくなり、掘りがちな水を見ては、駒平はさう云ひ云ひした。

しかし、^①同じ仕事に向ふ駿介の熱心さの出どころは駒平とはちがつてゐた。彼は何も井戸掘りでなくてもよかつた。彼の家の裏は近く刈られる。そのうちには煙草の葉の乾燥も始まる。彼はそれのどつちにも自ら参加しようと思つてゐる。彼は今痛切に肉體的な勞働を欲してゐた。彼は、心身がある一つの對象に向つて統一された状態にあることを、張り切つた力の感じ、存在感と云つたやうなものを、深い自覺に於てといふよりは、ほとんど本能的な欲求として、渴くやうな氣持で求めてゐたが、さういふ彼の求めに最も端的に應へてくれるものが肉體的な勞働であらうといふことは言ける。心身の力を出し切つて、荒々しくぶつかつて行けるやうなもの、さういふ機会を彼は欲してゐた。それは單に、病後の休養にも倦みはじめた若い肉體の、生理的な要求に過ぎないものであらうか。それはさうでもあつたらう。だが同時に、それはもつと深いところに根

さしてもゐるものだつた。彼は自分の過去に訣別しようとしてゐた。脱出の道のない、泥沼のやうな觀念の世界にはまり込んで、脱け道がないといふことのなかにかへつて陶酔してゐたやうな過去に別れようとしてゐた。他人の生きた経験をそのまま振り所とするわけにはいかぬ、先づ自分自らがほんとうに社會を生きて見なければならぬ。彼はそのような一般的な意志を持ち始めたが、もしもこれが、今から七八年も前であつたなら、新しい道は具體的な、明確な道を取つて彼の前に開けたであらうが、今はさうはいかなかつた。彼の歩みは、何か生活的なもの、實質的なもの、中身のぎつしり詰つてゐるもの、生産的なもの、建設的なもの、上附かずにじっくり地に足のついたもの、さらいふ内容一般に強く心を惹かれるといふ、きはめて漠然とした抽象的な姿において始められたのである。ちやうどさういふ時、彼の村の生活は彼の前に展けたのである。それは新鮮な魅力だつた。村の生活のどんな小さな断片でもが、生々とした感情を彼に呼びさまさずにはゐなかつた。

「掘り下げて、底を深くするだけやつたら、大して遺作もないこつたが、それにやまづ、井戸側の石をすつかり取り拂つて、それからまたそれをもとも通り積み上げにやならんけんう。」

四間からの深さの井戸側は、全部、さまざまの形の大きな自然石でがっちり築き上げられてゐつた。

「そのやうにしてかからにや、だめなもんですか。」

「ああ。井戸の掘り下げには、まづ井戸側を外してからかかるのがまづどうなやり方としてあるもんぢや。」

「ほう。」

「不精して、側の石をそのままにしてかかるものもないことはないが、さうすつと、掘り下げ中に側が崩れ落ちてからに、底で作業中の者が生き埋めにならんとも限らんのおや。」

「ああ、成程な。」

「ずんずん掘り下げて行くぢやらう。ところで底が深くなるつてことは、底と、側を面めとる石との間に、それだけ隙間が出来るといふことぢやらう。側を支へとるものは底ぢやけにな。その隙間を持つて来て、井戸側せんたいの重みが上からずんとのしかかる。一たまりもないわけやらうが、俺らなを昔からそんな騒ぎを、たくさんに見もし聞きもしとる。つい三年ほど前に、元山(村)の八田の息子が畦みたやうにつぶれ死んだのをぞもやつぱしそれぢや。井戸掘りは土質については案じるものだが、後で話に聞いたら、八田のとはやつぱし砂地ぢやつたさうな。それぢやなまらんわ。年寄りが知らん筈ない。はたして年寄りが町を出てゐる間にやつたといふことぢやつた。」

「しかし、その土質といふ點を云つたら」と、駒平は續けた。「うちのはいいんぢや。うちのは粘土質の粘土ぢやからぬ。上からのすり落ちも萬々なからうとは思ふんぢやが……」

そして、ちつと考へこんだ。

頸筋をつたはつて流れる汗が、喉の凹みにたまつたのを、彼は大きな手の平ではじいた。はだけた胸はおどろくほど厚くがつしりしてはゐるが、やや萎みたるんだ感じの皮膚の上には、老の黒いしみが點々とちらばつてゐた。

① やがて彼は心を決したらしく云つた。

「やつて見るかなあ、おやあいつ。今年こそはと思つて、一年一年のぼしとるうちに、俺らもそれだけ年をとり、からだも弱る勘定ぢや。そのうちに、いつ何時、何事が起つて足腰立たんやうになるかも知れたとつちぢやない。我が手にこれが出来んといふことになつちや、未代までも心残りぢやけに。」

問一 傍線部①について、駿介と駒平との「熱心その出どころ」のちがいを、わかりやすく説明しなさい。

問二 傍線部②について、どのような状態を指すのか、考えを述べなさい。

問三 傍線部③について、駒平は決心するまでに、どのようなことを迷つていたのが、考えを述べなさい。

平成 31 (2019) 年度

大阪大学大学院文学研究科 (博士前期課程/外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題

文化表現論専攻 比較文学専門分野 専門試験

[問題用紙は 2 枚あります]

1 以下の英文を読んで問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。出典は次のとおりです。

出典は David Harvey, *The Condition of Postmodernity: an Enquiry into the Origins of Cultural Change* (Oxford: Blackwell, 1990), p.99 l.1-l.26 です。

(A) 全文を日本語に訳しなさい。

(B) 下線部(1)について、具体的な事例を挙げて日本語で説明しなさい。

(C) 下線部(2)について、具体的な事例を挙げて日本語で説明しなさい。

2 以下の英詩とその翻訳とを比較し、韻律などに注記しながら論じなさい。
問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。出典は次のとおりです。
南日恒太郎『英詩藻鹽草』（北星堂書店, 1916）, pp.160-161 です。

3 Cultural Appropriation(文化の盗用)について、下記の文章をふまえ、その功罪と課題を、適宜、他の事例を挙げて論じなさい。

出典は Yoshio Markino, *My Idealed John Bulleses* (London: Constable, 1912), p.92, l.1-1.23 です。なお引用に際しては、表記ほか変更したところがあります。

Other day I went to South Kensington Museum with couple of my Japanese friends. We saw a bronze eagle by Myochin*. It was his masterpiece. One of my friends exclaimed, " What a great shame for our country to have sold such a splendid masterpiece to other country! We ought to rebuy it, disregarding any figures for its price. We must keep it in our country." I deeply sighed. " How very mistaken you are! The matter is entirely different from those shameful war trophies. Don't you know Myochin's eagle is in its right place now? Far more people are looking at it here every day than when it was in Japan. Besides, when it is in a foreign country, it shows our art in a wider scale in this world! " To-day the children of the Great Britain are scattered all over the world. They all are spreading their graceful wings like Myochin's eagle. They are well worth of being proud, and the merit belongs to the John Bulless** mothers, who know how to part from their children. But it is not always easy task to them; for they have hearts as much as any other women.

* Myochin: well-known Japanese sculptor

** John Bulless: British

平成31(2019)年度
大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 中国文学専門分野 専門試験

[問題用紙は2枚です]

I 次の文章を読んで後の問いに答えよ。解答はすべて日本語を用いること。

夫詩何為者也。尚其詞而已矣。曰善詩者去詞，然則尚其意而已矣。曰善詩者去意，然則去詞去意，則詩安在乎。曰去詞去意而詩有在矣。然則詩果焉在。曰嘗食夫飴與茶乎。人孰不飴之嗜也。初而甘，卒而酸。至於茶也，人病其苦也。然苦未既而不勝其甘，詩亦如是而已矣。昔者暴公譖蘇公，而蘇公刺之。今求其詩，無刺之之詞，亦不見刺之之意也。乃曰，「二人從行，誰為此禍。」使暴公聞之，未嘗指我也。然非我其誰哉。外不敢怒，而其中媿死矣。三百篇之後，此味絶矣。惟晚唐諸子差近之。…(中略)…弔古戰場曰，「可憐無定河邊骨，猶是春閨夢裏人。」…(中略)…三百篇之遺味，黯然猶存也。

(楊萬里「頤庵詩集序」)

- 問1 上の文章全文を分かりやすく言葉を補いながら日本語訳せよ。
- 問2 上の文章において、詩とはどのようなものであるべきだと考えられているのか、文章全体の趣旨を踏まえながら分かりやすく説明せよ。
- 問3 上の文章にあらわれた文学観の特徴について、日本・西洋のそれも視野に入れて、自由に論じよ。

II 次の詩を読んで、後の問いに答えよ。解答はすべて日本語を用いること。

太行界天三千里，清晨跳入寒窗底。黄河動地萬壑雷，却與太行相趁來。青嶺顛狂白波怒，老夫驚倒立不住。乃是丘遲出塞歸，贈我大軸出塞詩。手持漢節捉秋月，弓挂天山鳴積雪。過故東京到北京，淚滴禾黍枯不生。誓取胡頭為飲器，盡與黎民解魑髻。詩中哀怨訴阿誰，河水嗚咽山風悲。中原萬象聽驅使，總隨詩句歸行李。君不見晉人王右軍，龍跳虎卧筆有神。何曾哦得一句子，自哦自寫傳世人。君不見唐人杜子美，萬草千花句何綺。祇以詩傳字不傳，却羨別人雲落紙。莫道丘遲一軸詩，此詩此字絕世奇。再三莫遣鬼神知，鬼神知了偷却伊。

(楊萬里「跋丘宗卿侍郎見贈使北詩一軸」)

- 問1 上の詩の韻律について、韻字をすべて挙げながら説明せよ。
- 問2 上の詩は「跋丘宗卿侍郎見贈使北詩一軸」と題されている。この題の意味するところについて簡潔に説明せよ。
- 問3 上の詩の全文を分かりやすく言葉を補いながら日本語訳せよ。
- 問4 楊万里について知るところを述べよ。
- 問5 上の詩について自由に論じよ。

平成31(2019)年度
大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 英米文学専門分野 専門試験
[問題用紙は4枚です。]
(1枚目/4枚中)

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

1. 次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

※著作権に配慮し、問題文は省略します。

- (1) 下線部(イ)を日本語に直しなさい。
- (2) 下線部(ロ)が指す内容を、日本語で説明しなさい。
- (3) 第2段落の内容を、日本語で要約しなさい。

【出典】Mary Klages, *Literary Theory: A Guide for the Perplexed*. (New York: Continuum International Publishing Group 2006) 154頁21行~155頁2行

2. 次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

※著作権に配慮し、問題文は省略します。

- (1) この小説の三人称語りの特徴を述べなさい。
- (2) 下線部(イ)の意味を物語的特徴に照らして説明しなさい。
- (3) 下線部(ロ)を日本語に直しなさい。

【出典】Howard Jacobson, *The Finkler Question*. (London: Bloomsbury Publishing, 2010) 3頁1行~28行

3. 次の詩を読んで、以下の設問に答えなさい。

※著作権に配慮し、問題文は省略します。

- (1) この詩の第2連を日本語に訳しなさい。
- (2) この詩の形式について、日本語で評釈しなさい。

【出典】 T. S. Eliot, 'Journey of the Magi', *T. S. Eliot: The Complete Poems and Plays* (Faber and Faber, 2004), p. 103, l. 1- p. 104, l. 12

4. 次の日本語の文章を英語に訳しなさい。

※著作権に配慮し、問題文は省略します。

【出典】 福屋利信『ロックンロールからロックへ その文化変容の軌跡』
(東京：近代文藝社 2012). 58頁15行～59頁2行.

平成31(2019)年度
大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 日本語学専門分野 専門試験

[問題用紙は3枚あります。]

[1] 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
串田秀也・定延利之・伝康晴編(2005)『シリーズ文と発話1 活動としての文と発話』ひつじ書房、
「シリーズまえがき」iページ~iiiページ

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
串田秀也・定延利之・伝康晴編（2005）『シリーズ文と発話Ⅰ 活動としての文と発話』ひつじ書房、
「シリーズまえがき」 i ページ～iii ページ

出典：串田秀也・定延利之・伝康晴編（2005）『シリーズ文と発話1 活動としての文と発話』ひつじ書房，「シリーズまえがき」 i ページ～iii ページ

問1 下線部 (1) 「文」の定義や概念づけについて、あなたが知っている文の定義を2つ挙げ、それぞれ、どのような観点から導き出されたものかを述べなさい。

問2 下線部 (2) 「理想化された談話」とは何か、本文に即して説明しなさい。

問3 下線部 (3) 「現実の談話を直視する隣接領域との対話は、文を中心とする言語学的研究にとって、これまでにない有益な眺めをもたらしてくれるのではないのでしょうか。」という筆者らの意見に対して、あなたはどのように考えるか。自由に論じなさい。

[2] 次の12項目のなかから5項目を選んで説明しなさい。

- (1) 字音形態素
- (2) ジップの法則
- (3) 主要部
- (4) 文法化
- (5) 国際音声字母 (International Phonetic Alphabet, IPA)
- (6) 精密コード
- (7) コミュニケーション・アコモデーション理論 (Communication Accommodation Theory, CAT)
- (8) 公用語
- (9) フィールドノート
- (10) プライベート・スピーチ
- (11) Goffman の産出フォーマット
- (12) 会話における修復

[3] あなたが今後研究しようとするテーマに関連するキーワードを5つ挙げ、それぞれについて説明しなさい。

平成31（2019）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 英語学専門分野 専門試験

[問題用紙は2枚です。]
(1枚目／2枚中)

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I. 次の英文を日本語に訳しなさい。

著作権に配慮して、本文は削除します。なお、出典は以下の通りです。

[出典： Alexander Bergs, 2012, *Synchronic English Linguistics*. Frankfurt am Main: Peter Lang.
p. 93, l. 2～l. 13]

II. 次の英文を日本語に訳しなさい。

著作権に配慮して、本文は削除します。なお、出典は以下の通りです。

[出典： Cedric Boeckx, 2010, *Language in Cognition: Uncovering Mental Structures and the Rules Behind Them*. Wiley-Blackwell. p. 82, l. 1～17, 一部省略]

(2枚目/2枚中)

III. 次の項目の中から5つ選んで説明しなさい。回答は日本語でも英語でもよい。

1. Constituents
2. Long distance dependency
3. Homonymy
4. Thematic roles
5. Co-reference
6. Implicatures
7. Deixis (Deictic expressions)
8. Complementary distribution
9. Syntactic islands
10. Function words

IV. 次の文章の下線部を英語に訳しなさい。

著作権に配慮して、本文は削除します。なお、出典は以下の通りです。

[出典：高見健一 2011. 『受身と使役—その意味規則を探る—』開拓社. p.7, 1.26～p.8, 1.16.
一部省略]

V. 英語学・言語学に関する著書・論文の中であなたが影響を強く受けたものを一つ選び、その内容を概説し、その内容の何にあなたが影響を受けたのかを説明しなさい。回答はすべて英語で記載しなさい。字数制限はありません。

平成31（2019）年度
大阪大学大学院文学研究科（博士前期課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 美学・文芸学専門分野（美学受験分野） 専門試験

[問題用紙は2枚です。]

以下のすべての問いに日本語で答えなさい。

- 問1 自分の研究の問題関心を一言であらわすと、どんな語になりますか。その語のもとで論じられるべき重要な点について、分かりやすく説明しなさい。たとえば「崇高」「神経美学」「前衛陶芸」「景観デザイン」「映画批評」などがそうした語にあたります。問題関心をあらわす語ですので「ベンヤミン」といった固有名詞は避けてください。文章の長さは問いませんが、内容ごとに段落を分けて読みやすく書くこと。[配点75点]
- 問2 別紙に掲げる英文を読んで、下線を付した疑問文に対する説得的で論理的な回答を行いなさい。[配点75点]

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次の通りです。
Gordon Graham, "Aesthetic Empiricism and the Challenge of Fakes and Ready-mades",
in Matthew Kieran (ed.) *Contemporary Debates in Aesthetics and the Philosophy of Art*,
Blackwell 2006. [Kindle edition]

平成31(2019)年度
大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 音楽学・演劇学専門分野 (音楽学受験分野) 専門試験

[問題用紙は2枚あります。]

(1枚目/2枚中)

問1 次の英文を日本語訳しなさい。[配点50点] [出典: Roy Shuker, *Popular Music: The Key Concepts* (Fourth Edition), Routledge, 2017, p.148, l.28 - p.149, l.7.] 【引用文は著作権に配慮して省略】

(2枚目/2枚中)

問2 自分の研究テーマにかかわる研究動向あるいは方法論を1つ挙げ、複数の参考文献を用いて説明しなさい。その際、日本語で書かれた文献を一つ以上含めること。[配点 40 点]

問3 以下の文章で述べられている事柄に対するあなたの見解を述べなさい。[配点 60 点]

(出典 大友良英『学校で教えてくれない音楽』、2014年、岩波新書、p.6, 1.8-p.7, 1.12) 【引用文は著作権に配慮して省略】

平成31(2019)年度
大阪大学大学院文学研究科(博士前期課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化表現論専攻 音楽学・演劇学専門分野 (演劇学受験分野) 専門試験

[問題用紙は2枚です。]
(1枚目/2枚中)

問1 次の6つの項目全てについて、それぞれ100字程度の日本語で説明しなさい。

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| 1) 能『敦盛』 | 2) 人形浄瑠璃 | 3) 『弁天娘女男白浪』 |
| 4) チェーホフ | 5) 築地小劇場 | 6) 『女の一生』 |

問2 問題用紙2枚目の英文は、Richard Schechner, *Between Theatre and Anthropology*, University of Pennsylvania Press, 1985. の一節で、'Restored behavior' について説明している文章です。この文章を読んで以下の設問に答えなさい。

設問1) 下線部(A)を日本語に訳しなさい。

設問2) この文章で論じられている 'Restored behavior' とはどのようなものか、簡単に日本語で要約しなさい。

問3 日本の新劇における欧米戯曲の翻訳上演はその後の日本演劇にどのようなことをもたらしましたか、また何が問題だと考えますか、あなたの考えを日本語で述べなさい。

(2枚目／2枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Richard Schechner, *Between Theatre and Anthropology*, University of Pennsylvania Press, 1985, p.35, l.13—p.36, l.31